

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千八百九十八號

昭和十三年五月二日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一八一七號ノ二
昭和十二年官房第四三六八號中左ノ通改正ス
昭和十三年四月二十日

海 軍 大 臣

第一類中「吳、佐世保警備戰隊」ヲ「吳、佐世保防備戰隊」ニ改メ同 防備戰隊ノ項ヲ削ル
第二類中「横須賀警備戰隊(第二豫備艦以下ヲ除ク) 同 防備戰隊(右 ニ 同 ジ)」

吳、佐世保警備戰隊(第二豫備艦以下ノミ)ヲ 防備戰隊(右 ニ 同 ジ)」

「横須賀防備戰隊

吳、佐世保防備戰隊(第二豫備艦以下ノミ)ニ改ム

同類中同 附屬艦船(隊)ノ項中「(豫備艦船(隊)ヲ除ク)ヲ削リ掃海艇ニシテ學校航空隊等ノ練習用ニ充

テラレ現ニ練習ノ用務ニ従事スルモノノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

豫備艦船ニシテ軍港要港其ノ他所在地ノ警戒防衛任務ニ従事スルモノ(第一類及前各項中ニ該當スルモノヲ除ク)

官房第一八一七號ノ三ニテ本號廢止
昭和十三年四月二十日
海 軍 大 臣

官房第二二六八號
昭和十年官房第七二八號
昭和十一年官房第五〇八九號及昭和十二年官房第三三〇一號ハ之ヲ廢止ス
昭和十三年四月三十日
海 軍 大 臣

参照 前記官房號ハ南洋群島、臺北、京城在勤武官ニ關スル件ナリ(内令提要卷一、四九二頁及四九三頁)

海軍公報(部内限) 第二千八百九十八號 昭和十三年五月二日

四六三

0054

官房機密第二二九〇號

昭和十三年五月一日

内令提
要登載

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十二年官房機密第四九三八號別表ヲ別表ノ通改正ス

(昭和十二年十二月二日公報(部内限)参照)

(別表一葉添)

官房第二二五八號

昭和十二年官房第四三一四號中左ノ通改正シ昭和十三年五月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十三年五月二日

海軍大臣

第一表手拭、鉛筆及便箋ノ各項中「三箇月」ヲ「二箇月」ニ、落シ紙ノ項中「五十枚」ヲ「百五十枚」ニ、状態ノ項中「五枚」ヲ「十枚」ニ改メ石鹼ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

禪

一筋一箇月

備考第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 本表ノ物品ハ一人月額五十錢以内ニ於テ給與數量ヲ被是増減シ又ハ他ノ品目ヲ換給スルコトヲ得

○通牒

經給第三七號

昭和十三年五月二日

海軍省經理局

關係各廳御中

戰時給與取扱方ニ關スル件通知

首題ニ關スル昭和十二年經給第二七號第五號中「三十錢」ヲ「五十錢」ニ改メ候

○辭令

中山 頼道

佐世保鎮守府ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(海軍省)

○雜款

○郵便物發送先
第五驅逐隊ハ修理ノ爲分離行動中郵便物ハ左記ニ依リ

0055

御送付ヲ得度

追テ左記書類ニシテ各艦ニ關係アルモノハ寫一通各艦別ニ御送付相成度
司令、主計長宛ノモノハ四月二十五日ヨリ

機關長宛ノモノハ

(横須賀) 旗 風
(横須賀) 春 風

軍醫長、朝風資金前渡官吏宛ノモノハ 朝 風
(尙松風因島同航後同艦給與關係書類ハ同艦資金前渡官吏)

驅逐艦松風宛ノモノハ

五月二日迄

横 須 賀

驅逐艦朝風宛ノモノハ

其ノ後ハ

備後土生因島船渠内
横 須 賀

驅逐艦旗風、春風宛ノモノハ

備後土生因島船渠内
横 須 賀

驅逐艦峯雲宛

四月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ

大 阪
横 須 賀

○試験問題送付

當隊松風朝風修理ノ爲分離行動中各種練習生採用試験ハ單獨施行ニ付(松風ハ五月三日以降)試験問題ハ同艦長宛直接御送付ヲ得度

(第五驅逐隊司令)

0056

(別表)

昭和十三(教育)年度練習艦艇配當表

(昭和十三年五月二日公報(部内限)別表)

海軍砲術學校	海軍水雷學校	海軍通信學校	海軍工機學校	横須賀海軍航空隊	海軍航海學校	海軍潜水學校
						大井、第十九潜水隊、第二十潜水隊、雉、鳩
春日						
長門						
巖島						
第四十一驅逐隊						帆風
第九潜水隊						
呂號第五十八潜水艦						

0057

○艦船所在

△印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○五月二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城▲、五十鈴▲、木曾、▽巖島▲、春日、長門、高雄

▽電、雷▲、響、▽曉、狹霧、漣

呂六六

掃二▲

富士▲、尻矢

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、▽旗風、松風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、羽風▲

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【館山】澤風▲

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗

【函館】▽若竹▲

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、最上、▽白鷺▲、扶桑、加古、大井、夕顔、吳竹、▽白菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊七三、▽伊五七、伊五六、伊五八、伊五五

鳩、雉

襟裳、間宮

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

【大阪】呂六四▲

【神戸】(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】常磐▲

石廊▲

朝風▲

【因ノ島】平戸、淺間

【江田内】

【宿毛】鳴戸

【細島】彌生

【舞鶴】吾妻▲、八重山

▽初雪▲、白雪▲、吹雪、皁月

伊五二

(蔽)▲

【佐世保】赤城▲、榛名、那智、北上、名取、羽黑

0058

梨▲竹▲榧▲桃▲柳▲檜▲蕁▲
朝風、
滿潮、
峯風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六六七、呂六五、
呂六三、呂六八、伊六五、伊六六、伊

六七、伊二
敷島▲、洲埼、知床、鶴見
(伊七四)▲

【長崎】

佐多
(利根)▲ (筑摩)▲
【有明灣】
蒼龍、龍驤
陸月、如月、卯月

【パラオ】

膠州
【作業地】
出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、烏羽
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、球磨、妙高、多摩、長良、
神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、
沖島、磐手、八雲
栗、榎、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、菱、
蓬、島風、灘風、沙風、疾風、追風、
伊二一、伊二二
千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴨、鴻、

集、雁、鷺
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、室戸、大泊、野島

【航海中】

隱戸 (四月十二日横須賀發—羅府へ)
早鞆 (四月二十三日羅府發—「ホノルル」へ)
葦、楡、柿 (四月三十日鎮南浦發—鎮海へ)
陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、
由良、川内、迅鯨、鳥海、摩耶、熊野、
三隈、鈴谷、神通、阿武隈、夕立、五月雨、
村雨、春雨、白霧、時雨、有明、夕暮、江風、
山風、海風、涼風、朧、曙、潮、天霧、朝霧、
夕霧、白雲、薄雲、叢雲、東雲、伊一、伊三、
伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、
伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、
伊六八、伊六九、攝津 (二日有明灣發—宿毛へ)

(別表一葉、辭令云報添)

0059

海軍公報

(部内限) 第二千八百九十九號

海軍大臣官房

昭和十三年五月三日(火)

○ 令 達

官房機密第二三四八號

昭和十二年官房機密第二六二七號中左ノ通改正ス

昭和十三年五月三日

海軍大臣

航空本部關係兵器ノ部第十二航空隊ノ所管鎮守府「吳」

ヲ「佐世保」ニ、「第十三航空隊」ノ次ニ

第十四航空隊

「佐世保」ヲ加フ

附 則

本改正中第十二航空隊ニ對シテハ昭和十三年三月二十二日以降兵器ノ經理ニ付之ヲ適用ス

官房第一〇〇四號ノ八

第十四驅逐隊大沽ニ於テ鹵獲セル戦利内火艇一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年五月三日

海軍大臣

船種	公稱番號	所屬	定數別	記 事
内火艇	第二〇六號	旅順防備隊	臨時附屬	支那事變戦利内火艇

軍需機密燃第八一號

○ 通 牒

昭和十三年四月二十七日

海軍省軍需局長

各關係廳長殿

液体燃料平均比重ニ關スル件通牒

設計及計畫ノ基礎トスベキ液体燃料ノ平均比重ハ當分ノ間左記ニ依ルコトニ定メラレ候

品 種 記
平均比重 $\frac{15^{\circ}\text{C}}{4^{\circ}\text{C}}$

重油(罐用) 〇、九三五

海軍公報(部内限) 第二千八百九十九號

昭和十三年五月三日

四六九

0060

重油(「テイゼル」機械用)

航空原料揮發油	〇、九三五
航空七〇揮發油	〇、七二三
航空八五揮發油	〇、七二三
航空八七揮發油	〇、七二三
航空九二揮發油	〇、七二三
航空一號揮發油	〇、七二三
航空二號揮發油	〇、七〇五
一號普通揮發油	〇、七五四
二號普通揮發油	〇、七五四
燈油	〇、八〇八
一號石油	〇、八一〇
二號石油	〇、八〇一
輕油	〇、八二九
「ペンゾール」	〇、八七七
「アルコール」	〇、七九六

〇 辭 令

海軍學生銓衡委員ヲ命ス
思想調査委員會委員ヲ命ス

海軍大佐 阿部 勝雄

海軍武功調査委員ヲ命ス

海軍大佐 草鹿 龍之介

燃料政策調査委員會ヲ命ス

軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官
海軍航空本部造兵監督官海軍大佐

石戸 勇三

大阪監理官ヲ命ス

同

富田 賢四郎

東京監理官ヲ命ス

同

堀江 亥之吉

名古屋監理官ヲ命ス

同

大塚 敏雄

大阪監理官ヲ命ス

同

濱本 富義

東京監理官ヲ命ス

同

澤田 端

大阪監理官ヲ命ス

同

宮野尾 光司

東京監理官ヲ命ス

同

竹下 英五郎

神戸監理官ヲ命ス

0061

東京監理官ヲ命ス	同	大重 爲廣	同	川田 理
<small>海軍總政本部造船監督官兼 造兵監督官海軍航空本部造 兵監督官海軍機關中佐</small>		介本 誠至	同	大田川 肇
廣島監理官ヲ命ス		清水 文雄	同	岩波 浩
第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス		園田 三朗	同	内田 東明
海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上諸 海軍省)		海軍大佐 長谷川 喜一	同	有馬 玄
		海軍少佐 鬼塚 武二	同	村上 倫吉
		海軍機關中佐 桐野 義隆	同	山口 正
		海軍機關少佐 堀江 隆介	同	熊谷 三郎
		海軍軍醫大佐 金澤 信太郎	同	伊達 悌次
		同 山之内 秀三	同	平野 濤男
		同 中川 平五郎	同	吉村 武雄
		海軍軍醫中佐 小田島 祥吉	同	紺野 逸彌
		同 都 富 亭	同	森島 種雄
		同 松野 金治	同	白神 君太郎
			同	藤田 傳次
			同	鈴木 常治
			同	石原 徳次郎
			同	中村 貞助
			同	森岡 龍夫
			同	鈴木 久
			海軍主計中佐	

(各通)

海軍公報(部内限) 第二千八百九十九號 昭和十三年五月三日

四七一

0062

<p>○旗艦復歸 第五艦隊司令長官ハ四月二十八日旗艦ヲ妙高ニ復歸セリ</p>	<p>○雜款</p>	<p>海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(以上同日同)</p> <table border="0"> <tr> <td>同</td><td>島津 愨次</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>中垣 仙吾郎</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>奥田 登喜治</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>泰羅 丈夫</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>大橋 東洋男</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>田中 康平</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>橋本 晴男</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>池田 定信</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>田坂 茂吉</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>西森 正夫</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>岡部 幸二</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>若林 吉郎</td> </tr> <tr> <td>海軍造機少佐</td><td>谷 惠光</td> </tr> <tr> <td>海軍造兵中佐</td><td>堀 達成</td> </tr> <tr> <td>同</td><td>徳川 久三郎</td> </tr> <tr> <td>海軍造兵少佐</td><td>高 信次</td> </tr> </table>	同	島津 愨次	同	中垣 仙吾郎	同	奥田 登喜治	同	泰羅 丈夫	同	大橋 東洋男	同	田中 康平	同	橋本 晴男	同	池田 定信	同	田坂 茂吉	同	西森 正夫	同	岡部 幸二	同	若林 吉郎	海軍造機少佐	谷 惠光	海軍造兵中佐	堀 達成	同	徳川 久三郎	海軍造兵少佐	高 信次
同	島津 愨次																																	
同	中垣 仙吾郎																																	
同	奥田 登喜治																																	
同	泰羅 丈夫																																	
同	大橋 東洋男																																	
同	田中 康平																																	
同	橋本 晴男																																	
同	池田 定信																																	
同	田坂 茂吉																																	
同	西森 正夫																																	
同	岡部 幸二																																	
同	若林 吉郎																																	
海軍造機少佐	谷 惠光																																	
海軍造兵中佐	堀 達成																																	
同	徳川 久三郎																																	
海軍造兵少佐	高 信次																																	
<p>○特務艦尻矢行動豫定</p> <table border="0"> <tr> <td>地名</td><td>着</td><td>發</td></tr> <tr> <td>横須賀</td><td>五月四日</td><td>五月三日</td></tr> <tr> <td>二見沖</td><td>五月八日</td><td>五月六日</td></tr> <tr> <td>徳山</td><td>五月十一日</td><td>五月十日</td></tr> <tr> <td>佐保</td><td>五月十四日</td><td>五月十三日</td></tr> <tr> <td>徳山</td><td></td><td>五月十六日</td></tr> </table>	地名	着	發	横須賀	五月四日	五月三日	二見沖	五月八日	五月六日	徳山	五月十一日	五月十日	佐保	五月十四日	五月十三日	徳山		五月十六日	<p>○司令潜水艦變更</p> <p>第十八潜水艦司令ハ四月二十五日司令潜水艦ヲ伊號第五十三潜水艦ヨリ伊號第五十四潜水艦ニ變更セリ</p> <p>○第十八潜水隊(伊五三缺)行動豫定</p> <table border="0"> <tr> <td>地名</td><td>着</td><td>發</td></tr> <tr> <td>吳</td><td>五月十二日</td><td>五月十一日</td></tr> <tr> <td>神戶</td><td></td><td></td></tr> </table>	地名	着	發	吳	五月十二日	五月十一日	神戶			<p>○司令驅逐艦復歸</p> <p>第二十二驅逐隊司令ハ五月一日司令驅逐艦ヲ水無月ヨリ文月ニ復歸セリ</p> <p>第二十七驅逐隊司令ハ四月二十九日司令驅逐艦ヲ菱ヨリ蓼ニ復歸セリ</p>	<p>○旗艦變更</p> <p>第三航空戰隊司令官ハ四月三十日旗艦ヲ香久丸ヨリ神威ニ變更セリ</p>				
地名	着	發																																
横須賀	五月四日	五月三日																																
二見沖	五月八日	五月六日																																
徳山	五月十一日	五月十日																																
佐保	五月十四日	五月十三日																																
徳山		五月十六日																																
地名	着	發																																
吳	五月十二日	五月十一日																																
神戶																																		

0063

横須賀 十八日

○特設運送船神祥丸行動豫定

地名 着 發

吳 須賀 五月五日 五月三日

神 戶 八月八日 五月九日

吳 須賀 十月十日 五月十三日

横 須賀 十月十五日 五月十七日

吳 須賀 十月十九日 五月十七日

○郵便物發送先

第十八潜水隊(伊五四)宛

五月十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 神戸市兵庫區東出町

海軍監督官事務所内

伊號第五十三號潜水艦宛

從來通 吳

第十八潜水隊司令、隊、機關長宛ノ書類ニシテ伊號

五十三潜水艦ニモ關係アルモノハ寫ヲ直接同艦宛送

付相成度

水雷艇雄宛

五月 七 日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ 朝鮮咸鏡北道羅津郵便局留置

吳

水雷艇鳩宛

五月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ 朝鮮咸鏡南道元山局留置

吳

特務艦尻矢宛

五月十五日 日迄ニ到達見込ノモノハ 德

其ノ後ハ 横須賀 山

○書類發送先

第十三驅逐隊並早苗、若竹ノ書類ヲ一括本艦ニ送付セラルル向アルモ整理並ニ機密保持上不都合ニ付隊宛ノ分庶務關係ハ函館在泊若竹ニ給與關係ハ吳在泊吳竹ニ各艦宛ノモノハ各所在(早苗ハ大湊在泊)ニ送付セラレ度

(驅逐艦 吳 竹)

○「ハホ」ノ指定不用

驅逐艦若竹陸岸繋留中「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

○試験問題發送

第六十一期高等科電信術練習生採用試験問題四月二十八日左ノ通發送濟ニ付未著ニシテ必要ノ向ハ至急御通知相成度

記

一、聯合試験施行用ノモノハ各人事部長及各要港部參謀長(舞鶴ハ防備隊司令)宛送付

二、試験當日出動艦船用トシテ各人事部長宛若干部數送付

三、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直接送付
(海軍通信學校)

第三十六期高等科看護術練習生採用試験問題四月二十三日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ御通知相成度

記

一、聯合試験參加各部ノ分ハ横須賀軍人事部長及大湊要港部參謀長宛送付セリ

二、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送セリ

三、聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更其ノ他ノ爲聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ横須賀海軍人事部長宛單獨試験問題若干部送付シ置ケリ
(横須賀海軍病院)

○正誤

四月二十五日辭令欄澁澤元治ノ辭令文中「奏任」ハ「勅任」ノ誤

0065

○艦船所在

△印ハハホ
指定ヲ要セズ

○五月三日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城▲、五十鈴▲、木曾、▽巖島▲、春日、長門、高雄▲

▽電、雷▲、響、▽曉、狹霧、漣

呂六六

掃二▲

富士▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、▽旗風、松風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】

▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

早苗▲

【函館】

▽若竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、最上、▽白鷹▲、扶桑、加古

夕顔、吳竹、▽白菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊七三、▽伊五七、伊五六、伊五八、伊五五

▽伊五五

鳩、雉

襟裳

(千歳)▲(千代田)▲

古鷹▲

呂六四▲

(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

平戸、淺間

夕霧

海風

鳴戸

彌生

吾妻▲、八重山▲

▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲

伊五二▲

(蔽)▲

海軍公報(部内限)第二千八百九十九號

昭和十三年五月三日

四七五

0066

【佐世保】

赤城、榛名、那智、北上、羽黒
梨、竹、榎、桃、柳、檜、葦、
朝風、
滿潮、朝潮、荒潮、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、
呂六三、呂六八、伊六五、伊六六、伊
六七、伊二

敷島、洲埼、知床、鶴見

【長崎】

沖島

(利根)、(筑摩)

【有明灣】

陸月、如月、卯月

【鎮海】

【基隆】

【作業地】

天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、球磨、妙高、多摩、長良、
神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、
栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、菱、
蓬、島風、瀨風、沙風、疾風、追風、

【航海中】

伊二一、伊二二、
千島、初雁、友鶴、真鶴、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、室戸、大泊、野島

【早瀬】

四月二十三日羅府發「ホルル」

陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、
由良、川内、迅鯨、島海、摩耶、熊野、
三隈、鈴谷、神通、阿武隈、夕立、五月雨、
村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、
山風、海風、涼風、白朧、曙、湖、天霧、朝霧、
白雲、薄雲、叢雲、東雲、伊一、伊三、伊六、
伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、
伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、
伊六九、攝津(一日有明灣發一宿毛)

【龍驤】

(二日有明灣發一細島)

名取、(二日有明灣發一宿毛)

大井(二日吳發一大阪)

神風、沼風、波風、野風(二日大湊發一津輕海峽)

阜月(二日舞鶴發一港外)

間宮(二日吳發一宿毛)

尻矢(三日橫須賀發一二見)

(辭令公報添)

0067

海軍公報 (部内限) 第二千九百號

海軍大臣官房

昭和十三年五月四日(水)

○通牒

官房第二三二〇號

昭和十三年五月四日

海軍次官

關係各廳長殿

支那事變歸郷軍人等ニ關スル復員要綱ニ

關スル件申進

首題ノ件別紙ノ通閣議決定相成候ニ付各部ニ於テ其ノ關係事項ニ關シ必要ナル措置ヲ講ジ成ルベク速ニ之ガ實現ヲ期セラレ度

(別紙)

内閣閣甲第八〇號

昭和十三年四月十二日

内閣書記官長 風見 章

海軍大臣 米内光政殿

支那事變歸郷軍人等ニ關スル復員要綱別紙ノ通閣議決

定相成候條依命此段及通牒候

支那事變歸郷軍人等ニ關スル復員要綱

- 支那事變歸郷軍人等ニ關スル復員ニ付テハ左記ニ依ル
- 一 一般國民ノ戰死軍人、傷疾軍人、歸郷軍人竝ニ其ノ遺族家族ニ對スル感謝心ノ高揚持續ニ努ムルコト
- 二 歸郷軍人、傷疾軍人竝ニ其ノ家族及戰死軍人ノ遺族ニ對シテモ戰功者乃至其ノ遺族家族トシテ謙讓ノ美德ヲ保持セシムル様適宜ノ指導ヲ與フルコト
- 三 復員ニ關スル新聞記事ノ指導ヲ適當ニ行ヒ事變處理上遺憾ノ點ナカラシムルコト
- 四 歸郷軍人ノ就職ヲ保全スルコト
- 之ガ爲歸郷軍人ニ對シテハ官公署、公共事業其ノ他國策會社等ニ於テ其ノ復職及新規採用上ノ優先的取扱ヲ勵行スルハ勿論官民一致ノ協力ニ依リ其ノ職業補導及就職斡旋等ニ關シ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス
- 五 歸郷軍人ニシテ自家營業等ヲ經營スル者ニ對シテ

海軍公報 (部内限) 第二千九百號 昭和十三年五月四日

四七七

0068

ハ生業援護ノ外事業資金ノ融通、事業經營上諸般ノ指導斡旋等ニ關シ所要ノ施設ヲ講ズルコト

六 歸郷軍人ノ海外進出特ニ滿洲、支那及南洋方面ヘノ移民、就職、事業參加等ヲ保護獎勵スルコト

七 歸郷軍人中ノ學生生徒ニ對シテハ其ノ進級及卒業ノ取扱ニ關シ特別ノ便宜ヲ與フルコト

八 傷痍軍人及歸郷軍人ニ對スル恩給及賜金ノ保護ニ關シ必要ナル施設ヲ講ズルコト

九 傷痍軍人ノ醫療、介抱、配偶者斡旋等ニ關シ必要ナル施設ヲ講ズルコト

十 傷痍軍人ノ職業ヲ保護スルコト
之ガ爲傷痍軍人ニ付テハ原職復歸ヲ原則トシ四及五ノ措置ヲ採ルノ外營業許可上ノ特別取扱其ノ他之ガ職業保障ニ關シ適切ナル施設ヲ講ズルモノトス

十一 傷痍軍人ニ對シテハ交通機關、教育機關、研究機關、慰安機關其ノ他公共的諸施設ノ利用ニ關シ特別ノ便宜ヲ與フルコト

十二 戰死軍人ノ遺族及傷痍軍人ノ家族ニ對シテモ育英上其ノ他前諸號ニ準ズル保護ヲ與フルコト

十三 軍屬及其ノ遺族家族ニ對シテモ軍人及其ノ遺族家族ニ準ジ國家ノ恩典及社會的保護ヲ與フルコト

十四 復員期ニ於ケル勞務需給ノ調整及産業平和ノ維持ノ爲勞務配給機構ノ整備、勞働條件ノ規正、勞資

協調施設ノ擴充等ノ措置ヲ講ズルコト

十五 復員期ニ於ケル各種傳染病ノ豫防及治療ノ爲須要ノ地ニ付必要ナル施設ヲ講ズルコト

十六 前諸號ノ事項ハ中央及地方ヲ通ジ財政ノ許ス限リ關係各廳ニ於テ成ルベク速ニ其ノ實現ヲ期スルコト

官房第二三二二號

昭和十三年五月四日

海軍省副官

關係各廳長殿

銅ノ消費節約ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通商工次官ヨリ通牒有之候條可然御取計相成度

(別紙)

一三號第七二九號

昭和十三年四月二十二日

商工次官 村瀬直養

海軍次官 山本五十六殿

0069

銅使用制限規則改正ノ件

銅需給ノ現状ニ鑑ミ當省ニ於テハ曩ニ昭和十二年商工省令第二十八號ヲ以テ銅使用制限規則ヲ公布シ建築用銅ノ使用ニ相當程度ノ制限ヲ加ヘタル次第ニ有之候處最近ニ於ケル情勢ニ鑑ミルニ更ニ之ヲ強化スルノ要アリト認メラルルヲ以テ今般別紙ノ通本則ヲ改正シ昭和十三年五月一日ヨリ施行致スコト相成候ニ付テハ貴省ニ於テモ可及的消費ヲ節約相成以テ本則改正ノ目的達成ニ御協力相煩度此段得貴意候也

追而貴省所管各官衙ニ對シテモ右趣旨徹底方御配意相煩度

別紙(略、昭和十三年商工省令第十八號參照)

○辭令

海軍機關大佐 西海 賢治

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(四十七月)海軍航空本部)

○將旗移揚
第一聯合航空隊司令官ハ五月二日將旗ヲ鹿屋海軍航空隊ヨリ木更津海軍航空隊ニ移揚セリ

○旗艦變更訂正

第四艦隊司令官ハ四月十一日旗艦ヲ沖島ヨリ足柄ニ復歸セリト訂正ス(四月十二日公報部内限參照)

○事務所撤去

橫須賀警備戰隊殘務整理事務所ヲ橫須賀鎮守府内ニ設置中ノ處五月二日撤去セリ

峯雲艦裝具事務所ヲ株式會社藤永田造船所内ニ設置中ノ所四月三十日ニ撤去セリ

○檢便證明書ノ件

特務艦間官給糧任務ノ關係上自今同艦ヘノ便乘者ハ檢便證明書ヲ持參セシメラレ度

0070

○ 艦船所在

指▲印△ハホノ
定ヲ要セズ

○五月四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城▲、五十鈴▲、木曾、▽嚴島▲、春日、長門、高雄▲

▽電、雷▲、響、▽曉、狹霧、漣

呂六六

掃二▲

富士▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、▽旗風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【館山】澤風▲

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗▲

【函館】▽若竹▲

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、最上、▽白鷹▲、扶桑、加古

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊七三、▽伊五七、伊五六、伊五八、襟裳

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

呂六四▲

伊八▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

平戸、淺間

鳴戸

海風

間宮

龍驤

彌生

吾妻▲、八重山▲

▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲、皐月

伊五二▲

(蔽)▲

赤城▲、榛名、那智、北上、羽黑、名取、沖島

【佐世保】

赤城▲、榛名、那智、北上、羽黑、名取、沖島

0071

梨、竹、樺、桃、柳、檜、蕙、
朝風、
朝風、
滿潮、
長月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、
呂六三、呂六八、伊伊六五、伊六六、伊
六七、伊二

敷島、洲崎、知床、鶴見

(伊七四) ▲

【長崎】

佐多 ▲

【有明灣】

陸月、如月、卯月

【鎮海】

草、楡、柿

【基隆】

磐手、八雲

【巴オ】

膠州

【作業地】

出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、球磨、妙高、多摩、長良、
神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、
栗、梅、逆、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、菱、
蓬、島風、灘風、沙風、疾風、追風、
伊二一、伊三二

【航海中】

隱戸 (四月十二日横須賀發—羅府へ)

早鞆 (四月二十三日羅府發—ホノルルへ)

陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、
由良、川内、迅鯨、鳥海、摩耶、熊野、
三隈、鈴谷、神通、阿武隈、夕立、五月雨、
村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、
山風、海風、涼風、朧、曙、潮、天霧、朝霧、
白雲、薄雲、叢雲、東雲、伊一、伊三、伊六、
伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、
伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、
伊六九、攝津 (一日有明灣發—宿毛へ)

大井 (二日吳發—大阪へ)

夕霧 (三日徳山發—宿毛へ)

松風 (三日横須賀發—因ノ島へ)

伊五五 (三日吳發—豊後水道へ)

雉 (三日吳發—羅津へ)

鳩 (三日吳發—元山へ)

尻矢 (三日横須賀發—二見へ)

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶴、鴨、鴻、
隼、雁、鷺
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、室戸、大泊、野島

0072

海軍公報 (部内限) 第二千九百一號

昭和十三年五月五日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房第二三二二號 昭和十三年官房四七四号
ニテ本号自然消滅
當分ノ間横須賀海軍經理部長ハ横須賀海軍艦隊部大湊
出張所ニ於ケル會計事務ノ監督ノ一部ヲ大湊要港部主
計長ニ委任スルコトヲ得
本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ適用ス
昭和十三年五月五日
海軍大臣



○辭 令

鐵道局副參事 本多 秀果
鐵道局書記 松下 屋熊
(各通) 同 山口 馨
同 須藤 寅吉
同 永井 政次郎
海軍省事務ヲ囑託ス(一)海軍省(二)海軍省

○雜 款

北支海軍特務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(三)同
海軍主計中將 武井 大助
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス
燃料政策調査會委員ヲ命ス
海軍工作廳會計制度調査委員會委員ヲ命ス
海軍武官任用委員ヲ命ス(附海軍省)
○司令驅逐艦變更
第五驅逐隊司令ハ五月三日司令驅逐艦ヲ一時旗風ヨリ
松風ニ變更セリ
第二十七驅逐隊司令ハ四月二十九日司令驅逐艦ヲ菱ヨ
リ蓼ニ變更セリ
○郵便物發送先
第二航空戰隊司令部宛

海軍公報(部内限) 第二千九百一號 昭和十三年五月五日

四八三

0073

第四水雷戰隊司令部ノ殘務整理ハ自今千代田艦裝員海軍中佐今里博之ヲ行フ

○試驗問題發送

第九期普通科航空兵器術^{攻撃}寫真練習生^{採用}試驗問題
第四十八期普通科整備術練習生^{採用}試驗問題

右五月二日左記ノ通發送濟未着ニシテ必要ノ向ハ最寄海軍人事部若クハ霞ヶ浦海軍航空隊ニ通知セラレ度

記

一、聯合試驗施行ノモノハ各海軍人事部長及各要港部參謀長宛送付

二、臨時所要ノ分トシテ單獨試驗問題若干部數前記諸官へ送付

三、單獨試驗施行豫定ノ各部(驅逐隊ハ各驅逐艦別)ニハ直送

(霞ヶ浦海軍航空隊)

五月 六	日迄ニ到達見込ノモノハ	志 布 志
同 十五	日迄ニ同	宮崎縣細島
同 十八	日迄ニ同	宿 毛
軍艦蒼龍宛		
五月 六	日迄ニ到達見込ノモノハ	志 布 志
同 九	日迄ニ同	宿 毛
其ノ後ハ		横 須 賀
軍 龍驤宛		
五月 十五	日迄ニ到達見込ノモノハ	宮崎縣細島
五月 十八	日迄ニ同	宿 毛
第一航空戰隊司令部、第三十驅逐隊(陸月、卯月)宛		
五月 六	日迄ニ到達見込ノモノハ	布 志
五月 十八	日迄ニ同	宿 毛
驅逐艦彌生、如月宛		
五月 十五	日迄ニ到達見込ノモノハ	宮崎縣細島
五月 十八	日迄ニ同	宿 毛
特務艦白沙宛		
自 今		佐世保郵便局氣付
特務艦鶴見宛		
五月 十二	日迄ニ到達見込ノモノハ	高 雄
同 二十三	日迄ニ同	馬 公
其ノ後ハ		佐 世 保

○殘務整理

0074

○艦船所在

▲印 (ハハホ)ノ
指定ヲ要セズ

○五月五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城▲、五十鈴▲、木曾、▽巖島▲、春日、長門、高雄▲

▽電、雷▲、響、▽曉、狹霧、漣

呂六六

掃二▲

富士▲

【長浦】

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲
帆風、▽旗風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】

▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】

掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲、夕風▲

【館山】

澤風▲

【二見】

尻矢

【大湊】

▽神風、沼風、波風、野風、早苗▲

【函館】

▽若竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、最上、▽白鷹▲、扶桑、加古、夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊七三、▽伊五七、伊五六、伊五八

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲、大井

呂六四▲

伊八▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

朝風▲

平戸、淺間

▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨、▽鳥海、摩耶

▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨

有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、▽朧、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

0075

【細島】 間宮、攝津
龍巖
彌生

【舞鶴】 吾妻▲、八重山▲

□初雪▲、白雪▲、吹雪▲、皐月
伊五二▲

【佐世保】

(菘)▲
赤城▲、榛名、那智、北上、羽黒、名取
梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、夕風、
朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、
滿潮、朝潮、荒潮、峯風、□文月、水無月、
長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、□呂六七、呂六五、

□伊六五、伊六六、伊六七、伊二

敷島▲、洲崎、知床
(伊七四)▲

【長崎】

佐多▲
(利根)▲、(筑摩)▲

【有明灣】

□蒼龍
□睦月、如月、卯月

【鎮海】

□葦、楡、柿

【元山】

鳩
【パラオ】 膠州

【作業地】 □出雲、▷天龍、龍田、▷安宅、嵯峨、鳥羽、

【航海中】

隱戸 (四月十二日横須賀發—羅府へ)

早鞆 (四月二十三日羅府發—「ホルル」へ)

松風 (三日横須賀發—因ノ島へ)

伊五五 (三日吳發—豊後水道へ)

雄 (三日吳發—羅津へ)

▷磐手、八雲 (四日基隆發—馬公へ)

□呂六三、呂六八 (四日佐世保發—港外へ)

鶴見 (四日佐世保發—那霸へ)

襟裳 (四日吳發—相生へ)

鳴戸 (四日徳山發—宿毛へ)

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
□足柄、沖島、▷球磨、□妙高、多摩、▷長良、
▷神威、▷能登呂、勝力、▷加賀、駒橋、
栗、梅、遠、□薄、葛、藤、□芙蓉、朝顔、
刈萱、□菊月、夕月、望月、三日月、□蓼、菱、
蓬、□島風、灘風、汐風、□疾風、追風、
□伊二一、伊二二
□千鳥、初雁、友鶴、真鶴、□鶴、鴨、鴻、
隼、□雁、鷺
□掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
▷朝日、室戸、大泊、野島

0076

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

○ 令 達

昭和十三年五月五日(木)

海軍大臣官房

官房第二三〇九號

艦營需品定額表中數量左ノ通改正ス

昭和十三年五月四日

工作長主管木工之部

海 軍 大 臣

二	戰艦、練習戰艦、一等巡洋艦	艦 船				備 品
		部 隊 名 稱	數 目	品 類 別	番 號 別	
最上、三隈、鈴谷、熊野、利根	四	個	木螺廻甲	第一類ノ七イ	記 事	
四	四	個	木螺廻乙	同		
四	四	個	木螺廻丙	同		
一	一	個	鐵乾爐	第一類ノ二一		

海軍公報(部内限)號外

0077

一、二等驅逐艦、水雷艇、 對島	艦防海		八重山、白鷹	沖島、嚴島、勝力	常盤	艦母水潛		水 上 機 母 艦	艦母空航		等 巡 洋 艦
	春日、八雲、淺間、磐手、出雲	對島				韓崎、駒橋	大鯨、長鯨、迅鯨		鳳翔、龍驤、蒼龍	赤城、加賀	
二	四	一	二	四	一	三	一	三	四	二	三
二	四	一	二	四	一	三	一	三	四	二	三
二	四	一	二	四	一	三	一	三	四	二	三
									一		

一、上記數量ハ砲術長主管ニ供給スルモノトス
 (兵器ヨリ艦營需品ニ移管ノモノ)
 (イ) 本數量ハ他主管欄數量ニ加ヘ合計欄數量ハ合算スルモノトス
 (ロ) 本數量ハ他主管ニ供給スル備品内譯中ノ砲術長數量欄ニ記入シ合計欄數量ハ合算スルモノトス

掃 海 艇	二 等 潛 水 艦	一 等 潛 水 艦	砲		臨時海軍防備隊	防 備 隊	海兵團、航空隊、霞ヶ浦 海軍航空隊(友部分遣隊)	
			艦	艇、安宅				
			烏羽、嵯峨、勢多、堅 田、比良、保津、熱 海、二見	一	二	四	三	一
一	一	一	一	二	四	三	一	一
一		一	一	二	四	三		一
<p>砲術長 主管</p> <p>工作長 主管 木工之部 ヨリ 供給ヲ 受クル 備品 中 木螺廻甲、木螺廻乙、木螺廻丙、鐵乾爐ノ 數量ハ 本號 中 工作長 主管 木工之部 ヨリ 砲術長 主管 へ 供給スル 數量ニ 同シ</p> <p>二、本數量ハ 本主管欄數量ニ 加ヘ 合計欄數量ハ 合算スルモノトス</p>								

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年五月五日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房第二三一〇號

艦營需品定額表中數量左ノ通改正ス

昭和十三年五月四日

工作長主管金工之部

海軍大臣

航 空 母 艦	艦 部 隊 名		艦 部 隊 名		備 品	備 品	記 事
	類 別	番 號	類 別	番 號			
一	第一類	ノ七六	第一類	ノ七六	螺切型	螺切型	本表中定數記載ナキモノハ從前通ノ定數トス
一	第一類	ノ七六	第一類	ノ七六	螺切型	螺切型	

一 驅 逐 艦	特 務 艦	敷 設 艦	航 空 母 艦	航 空 隊
吹雪型、初春型、白露型(涼風ヲ除ク)	劍崎、高崎	沖島	霞ヶ浦海軍航空隊	大村、館山、大湊、吳、佐伯、佐世保、鹿屋、鎮海海軍航空隊、横須賀海軍航空隊豫科練習部
○			三	一
○			三	一

海軍公報 (部内限) 號外

船 役 雜			一驅	砲艦	韓 崎	艦 部 隊 名 稱				工作長主管木工之部																											
立神	淀橋、千早、猿橋、	川、波島	栗橋、第五吳、由良	吹雪型、初春型、白露型、朝潮型ヲ除ク	淀、安宅、嵯峨	戰艦、練習戰艦、一、二等巡洋艦、航空母艦、水上機母艦、潜水母艦(韓崎ヲ除ク)、敷設艦、海防艦	區 別	類 別、番 號	品 名	數 名	消 耗 品	記 事																									
一五	三〇	一五	三〇	一五	一五						潜水器試驗檢査成績表 枚																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>海 兵 團</th> <th>要 港 部</th> <th>旅 順 要 港 部</th> <th>舞 鶴 要 港 部</th> <th>旅 順 要 港 部</th> <th>舞 鶴 要 港 部</th> <th>港 務 部</th> <th>防 備 隊</th> <th>吳、佐世保防備隊</th> <th>航 空 隊</th> <th>橫 須 賀、館 山 海 軍 航 空 隊</th> <th>上 海 海 軍 特 別 陸 戰 隊</th> <th>驅 逐 隊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九〇</td> <td>一五</td> <td>三〇</td> <td>一五</td> <td>三〇</td> <td>一五</td> <td>一五</td> <td>三〇</td> <td>一五</td> <td>三〇</td> <td>一五</td> <td>一五</td> <td>一五</td> </tr> </tbody> </table>												海 兵 團	要 港 部	旅 順 要 港 部	舞 鶴 要 港 部	旅 順 要 港 部	舞 鶴 要 港 部	港 務 部	防 備 隊	吳、佐世保防備隊	航 空 隊	橫 須 賀、館 山 海 軍 航 空 隊	上 海 海 軍 特 別 陸 戰 隊	驅 逐 隊	九〇	一五	三〇	一五	三〇	一五	一五	三〇	一五	三〇	一五	一五	一五
海 兵 團	要 港 部	旅 順 要 港 部	舞 鶴 要 港 部	旅 順 要 港 部	舞 鶴 要 港 部	港 務 部	防 備 隊	吳、佐世保防備隊	航 空 隊	橫 須 賀、館 山 海 軍 航 空 隊	上 海 海 軍 特 別 陸 戰 隊	驅 逐 隊																									
九〇	一五	三〇	一五	三〇	一五	一五	三〇	一五	三〇	一五	一五	一五																									

0081

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年五月五日(木)
海軍大臣官房

○連廉令(考)

官房第二三一號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十三年五月二日

海軍大臣

航海長主管

艦船部隊名 數/品/番/類/區別 稱/名/號/別	備品			消耗品			記
	懷中電燈	電球	乾電池	個	個	個	
戰艦、練習戰艦	一〇	六〇	八〇	個	個	個	
巡 妙高型、高雄型	八	四八	六四	個	個	個	
古鷹型、青葉型	七	四二	五六	個	個	個	

洋艦	最上型、利根型	球磨型、長良型、川内型	天龍型、夕張	加賀、赤城	鳳翔、龍驤	蒼龍	水上母艦		潛水母艦(駒橋ヲ除ク)	敷設艦(沖島ヲ除ク)	沖島	駒橋
							神威、能登呂	千歲				
	七	五	四	七	五	六	四	五	三	四	二	
	四二	三〇	二四	四二	三〇	三六	二四	三〇	一八	二四	一二	
	五六	四〇	三二	五六	四〇	四八	三二	四〇	二四	三二	一六	

海軍公報 (部内限) 號外

0082

春日、磐手、出雲、八雲	砲艦	一等驅逐艦	二等驅逐艦、潜水艦、水雷艇、掃海艇	特務艦 (高崎、劍崎、朝日、敷島、攝津、陰夕)	朝日、攝津、敷島、高崎、劍崎	驅潜艇、夏島、猿島、那沙美、燕、鷗	各艦隊司令部	各艦隊司令部	各戰隊司令部	驅逐隊、水雷隊、掃海隊	海兵團	要港部 舞鶴要港部司令部 横須賀、大湊、吳、佐世保、馬公、鎮海、舞鶴各防備隊、臨時海軍防備隊 横須賀、霞ヶ浦、館
一〇	二	三	二	二	二	三	一	三	二	一	四〇	三
六〇	一二	一八	一二	一六	一八	六	二四〇	一八	一二	六	二四〇	一八
八〇	一六	二四	一六	一六	二四	八	三二〇	二四	一六	八	三二〇	二四
山、木更津、横濱、大湊、吳、佐伯、佐世保、大村、鹿屋、鎮海、高雄、舞鶴各海軍航空隊 霞ヶ浦海軍航空隊友部分遺隊、同安中水隊 上海海軍特別陸戰隊												
			二	五〇								
			一二	三〇〇								
			一六	四〇〇								

海軍公報

(部内限) 第二千九百二號

海軍大臣官房

昭和十三年五月六日(金)

○令 達

官房第二三六三號

航空機搭乗員ニハ必要ニ際シ航空錠及航空疲勞恢復錠ヲ使用セシムベシ

昭和十三年五月六日

海軍大臣

○辭 令

海軍中佐 松浦 義

海軍軍事普及部委員ヲ命ス(請海軍省)

海軍機關少佐 安田 收藏

第一課勤務ヲ命ス(請海軍省人事局)

軍令部出仕海軍少將 本田 忠雄

臨時戦史部長ヲ命ス

同 海軍大佐 松田 千秋

(各通)

同 海軍中佐 早川 幹夫

同 海軍機關大佐 美奈川 武保
臨時戦史部部員ヲ命ス(以上請海軍令部)

海軍大佐 富田 賢四郎

海軍機關大佐 濱本 富義

同 宮野尾 光司

同 大重 爲廣

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍大佐 堀江 亥之吉

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 石戸 勇三

(各通)

同 大塚 敏雄

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關大佐 澤田 端

同 竹下 英五郎

在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍機關中佐 倉本 誠至

在廣島首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上請海)

海軍公報(部内限) 第二千九百二號 昭和十三年五月六日

四八七

0084

軍航空本部)

○雜款

○軍艦八重山行動豫定

地名 着
舞鶴 五月十六日
佐世保 五月十七日

○郵便物發送先

軍艦八重山宛
五月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 舞鶴
其ノ後ハ 佐世保

驅逐艦峯風宛

五月十一日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ 鹿兒島縣志布志郵便局氣付
鹿兒島縣花岡郵便局氣付

伊號第五十二潜水艦宛

五月七日迄ニ到達見込ノモノハ 新舞鶴
同十七日迄ニ同 大舞鶴
其ノ後ハ 新舞鶴

0085

○艦船所在

指[△]定[△]要[△]セ[△]ズ

○五月六日午前十時調

【横須賀】

對馬[△]、愛宕[△]、大鯨[△]、夕張[△]、鳳翔[△]、山城[△]、五十鈴[△]、木曾、▷巖島[△]、春日、長門、高雄[△]、
▽電、雷[△]、響、▽曉、狹霧、漣、呂六六、掃二[△]、富士[△]

【長浦】

(飛龍)[△]、(劍埼)[△]、(高崎)[△]、帆風、旗風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七[△]、呂五九[△]、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】

▽太刀風[△]、羽風[△]

【横濱】

掃一[△]、掃三[△]、掃四[△]

【浦賀】

秋風[△]、夕風[△]

(霞)[△]

【二見】

尻矢

【大湊】

▽神風、沼風、波風、野風、早苗[△]

【函館】

▽若竹[△]

【吳】

矢矧、韓崎、比叡[△]、衣笠、青葉、長鯨[△]、淀、最上、▽白鷹[△]、扶桑、加古

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一[△]、呂五三[△]、呂二六、呂二七[△]、呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一[△]、伊七一[△]、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊五八

(千歲)[△]、(千代田)[△]

古鷹[△]、大井

▽呂六四[△]

▽伊八[△]、(伊七五)[△]

常磐[△]

石廊[△]、襟裳

朝風[△]、▽松風

平戸、淺間

▽伊七三

陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨、▽鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

宿毛、▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨、▽鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

【細島】▽龍驤 間宮、攝津、鳴戸
【舞鶴】▽吾妻▲、八重山▲
▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲、皐月
伊五二▲

(蔽)▲

【佐世保】

赤城▲、榛名、那智、北上、羽黒、名取

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、▽夕風、

朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、

滿潮、朝潮、荒潮、▽文月、水無月、長月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、▽呂六七、呂六五、

▽伊六五、伊六六、伊六七、伊二

敷島▲、洲崎

(伊七四)▲

【長崎】

佐多▲

(利根)▲ (筑摩)▲

【有明灣】▽陸月

【鎮海】▽葦、榆、柿

【元山】▽鳩

【羅津】▽雉

【馬公】▽磐手、八雲

【ホノルル】▽早鞆

【作業地】▽出雲、▽天龍、龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、

▽足柄、沖島、▽球磨、▽妙高、多摩、▽長良、

▽神威、▽能登呂、勝力、▽加賀、駒橋、

栗、梅、蓮、▽薄、葛、藤、▽芙蓉、朝顔、

刈萱、▽菊月、夕月、望月、三日月、▽蓼、菱、

蓬、▽島風、灘風、汐風、▽疾風、追風、

、峯風、澤風

▽伊二一、伊二二

▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▽鶴、鴨、鴻、

隼、▽雁、鷺

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八

【航海中】

▽隱戸 (四月十二日横須賀發—羅府—)

伊五五 (三日吳發—豊後水道—)

鶴見 (四日佐世保發—那霸—)

▽蒼龍、如月、卯月、彌生 (五日有明灣發—佐世保—)

▽伊五七、伊五六 (五日吳發—元山—)

▽呂六三、呂六八 (五日佐世保發—港外—)

0087

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千九百三號

昭和十三年五月七日(主)
海軍大臣官房

○ 通 牒

經契第三號ノ五九四

昭和十三年五月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

昭和十三年五月以降海軍航空機用デユラル
ミン材竝ニ四十五疋デユラルミン材購買契
約ニ關スル件通牒

昭和十三年四月以降ノ首題物品契約ニ關シテハ經契第
三號ノ三七〇ヲ以テ通牒致置候處デユラルミン材竝ニ
四十五疋デユラルミン材押出型材格差表ニ左記ノ通變
更ヲ加ヘ昭和十三年五月以降七月迄契約更改致候條右
ニ依リ處理相成度

記

一、デユラルミン材押出型材格差表
(住友金屬工業株式會社、古河電氣工業株式會社、

株式會社神戸製鋼所ト契約ノ分)
厚^m/以上 四月中(現在契約) 五月以降變更スベキ
格 差 格 差

- | | | |
|-----|------|-------|
| 二、三 | 二、五〇 | 三、〇〇 |
| 二、 | 四、〇〇 | 六、〇〇 |
| 一、八 | 五、〇〇 | 九、〇〇 |
| 一、六 | 六、〇〇 | 九、〇〇 |
| 一、四 | 八、〇〇 | 一〇、五〇 |
| 一、二 | 九、〇〇 | 一二、〇〇 |
- 二、四十五疋デユラルミン材押出型材格差表
(住友金屬工業株式會社ト契約ノ分)
一ノデユラルミン材押出型材格差表ニ同ジ

○ 辭 令

氣象臺技手 古都 正雄
第三艦隊ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ金貳百圓ヲ
贈與ス

海軍公報 (部内限) 第二千九百三號 昭和十三年五月七日

四九二

0038

第三艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク (謂海軍省)

岡本 大八

臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奉任官待遇トス (諸同)

○ 雜 款

○ 將旗移揚

第二航空戰隊司令官ハ五月五日將旗ヲ龍驤ニ移揚セリ

○ 郵便物發送先

第二航空戰隊司令部、軍艦龍驤、蒼龍、第三十驅逐隊 (陸月、卯月)、驅逐艦彌生、如月宛郵便物發送先左ノ如ク變更ス (五月五日公報 (部内限) 參照)

記

第二航空戰隊司令部、軍艦龍驤、第三十驅逐隊 (陸月) 宛

五月 十日迄ニ到達見込ノモノハ 宮崎縣細島

五月十八日迄ニ 宿 毛

其ノ後ハ 各所屬軍港

蒼龍及彌生、如月宛

自今 佐世保郵便局氣付

驅逐艦卯月宛

自今 佐世保

○ 部隊名變更

自今 兵部隊ヲ鈴木部隊ニ改ム

郵便物發送先

鈴木部隊

宮田部隊

佐世保郵便局氣付 (軍事郵便)

同 (同)

0089

○艦船所在 指[△]印[△]ハ[△]ホ[△]フ[△]
指[△]定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○五月七日午前十時調

【横須賀】 對馬[△]、愛宕[△]、大鯨[△]、夕張[△]、鳳翔[△]、山城[△]、五十鈴[△]、木曾、▷巖島[△]、春日、長門、高雄[△]

▷電、雷[△]、響、▷曉、狹霧、漣

呂六六

掃二[△]

富士[△]

(飛龍)[△](劍埼)[△](高崎)[△]

【長浦】 帆風、旗風、春風、▷夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七[△]、呂五九[△]、▷呂五八、▷伊二四、伊二三

▷掃六、掃五

【石川島】▷太刀風[△]、羽風[△]

【横濱】 掃一[△]、掃三[△]、掃四[△]

【浦賀】 秋風[△]、夕風[△]

(霞)[△]

【大湊】▷神風、沼風、波風、野風、早苗[△]

【函館】▷若竹[△]

【吳】 矢矧、韓崎、比叡[△]、衣笠、青葉、長鯨[△]、淀、最上、▷白鷹、扶桑、加古

夕顔、吳竹、▷菊、葵、萩、▷浦波、瀧波、

敷波、綾波、矢風

呂五一[△]、呂五三[△]、呂二六、呂二七[△]、呂二八、▷呂三四、呂三三、伊五一[△]、伊七一[△]、▷伊五三、伊五四、▷伊七二、伊五八、伊五五

(千歲)[△](千代田)[△]

古鷹[△]

呂六四[△]

【大阪】 常磐[△]

【神戸】 石廊[△]、襟裳

(伊八)[△](伊七五)[△]

常磐[△]

【相生】 石廊[△]、襟裳

朝風[△]、▷松風

【因ノ島】 大井

【高松】 平戸、淺間

【江田内】 山風

【德山】 伊七三

【別府】 陸奥、伊勢、日向、▷霧島、金剛、▷那珂、

鬼怒、由良、▷川内、▷迅鯨、▷白海、摩耶、

▷熊野、三隈、鈴谷、▷神通、▷阿武隈

夕立、五月雨、村雨、春雨、▷白露、時雨、

有明、夕暮、▷江風、海風、涼風、▷朧、

曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷白雲、

薄雲、叢雲、東雲

▷伊一、伊三、▷伊六、伊四、伊五、伊七、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六一、

【細島】△龍驤

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九
間宮、攝津、鳴戸

【舞鶴】吾妻△、八重山△

伊初雪△、白雪△、吹雪△、皐月
伊五二△

【佐世保】

赤城△、榛名、那智、北上、羽黒、名取、
蒼龍
梨△、竹△、榎△、桃△、柳△、檜△、葦△、
朝風、
朝風、
滿潮、
滿潮、
如月、彌生、卯月

呂三〇△、呂三一△、呂三二△、呂六〇△
呂六一△、呂六二△、呂六六△、呂六五△
呂六三△、呂六八△、伊六五△、伊六六△、
伊六七△、伊二

敷島△、洲崎

(伊七四)△

【長崎】

佐多△ (利根)△、(筑摩)△

【鎮海】

葦、楡、柿

【元山】

鳩

【羅津】

雄

【馬公】△磐手、八雲

(ホノルル) 早稲

【羅府】 隱戸

【作業地】△出雲、△天龍、龍田、△安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
△足柄、沖島、△球磨、△妙高、多摩、△長良、
△神威、△能登呂、勝力、△加賀、駒橋、
栗、梅、蓮、△薄、葛、藤、△芙蓉、朝顔、
刈萱、△菊月、夕月、望月、三月月、△蓼、菱、
蓬、△島風、灘風、沙風、△疾風、追風、
峯風、澤風

△伊二一、伊二二

△千鳥、初雁、友鶴、真鶴、△鶴、鴨、鴻、
隼、△雁、鷺

△掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

△朝日、室戸、大泊、野島、膠州、知床

【航海中】

鶴見 (四日佐世保發—那霸へ)

△伊五七、伊五六 (五日吳發—元山へ)

尻矢 (六日二見沖發—徳山へ)

0091

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千九百四號

昭和十三年五月九日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二四一五號

昭和十三年五月九日

海 軍 大 臣

海軍軍人軍屬援護扶助調査委員會委員長殿

海軍軍人軍屬援護扶助ニ關スル

調査ノ件訓令

委員長ハ委員ヲ督シ海軍軍人軍屬援護扶助ニ關スル調査ヲ行ヒ之ガ施設ノ整備擴充ノ爲探ルベキ具體的方策ヲ按畫シ昭和十三年八月三十一日迄ニ之ヲ提出スベシ

○辭 令

海軍主計中佐 大田 文三郎

海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(請海軍省)

海軍少佐 北村 喜三治

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

兼大阪監理官ヲ命ス

海軍造兵大佐 山田 幸五郎

購買名簿調査委員會委員ヲ免ス

海軍造兵少佐 高多 久三郎

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上請同)

海軍少將 清水 光美

海軍軍人軍屬援護扶助調査委員會委員長ヲ命ス

海軍大佐 中村 俊久

同 岡 敬純

同 山口 儀三郎

同 多田 武雄

同 西尾 秀彦

同 大西 新藏

同 近藤 泰一郎

同 市岡 壽

海軍中佐 齋藤 榮章

海軍艦政本部造船造兵監督
會計官兼海軍航空本部造兵
監督會計官海軍主計大佐

長妻 篤晴

海軍公報(部内限) 第二千九百四號

昭和十三年五月九日

四九五

0092

(各通)

同 篠田 勝清
 同 山本 善雄
 同 川崎 進
 同 鹿岡 圓平
 海軍少佐 伊藤 清六
 海軍軍醫大佐 大須賀 都美次
 海軍軍醫中佐 木津 盈之助
 海軍主計大佐 山本 丑之助
 同 桑原 憲
 同 横尾 石夫
 同 森島 種雄
 同 白神 君太郎
 海軍主計中佐 岩崎 光
 同 堤 恭二
 同 井上 健男
 海軍主計少佐 石瀨 知定
 海軍書記官 杉田 主馬
 海軍軍人軍屬援護扶助調査委員會委員ヲ命ス(以上
 五月同)
 海軍主計中佐 堤 恭二
 第一課勤務ヲ命ス(五月海軍省軍務局)

○ 雜 款

○軍事教育圖書
 去ル四月中納庫セル軍事教育圖書左ノ如シ
 (海軍文庫)

圖書名	標記番號	類別番號
照準發射教範	海軍省教範秘 第一〇六號	備品 二一三一
昭和十二年水雷術年報	海軍省教範秘 第三二五號B	備品 四〇・B
昭和十二年水雷術年報	海軍省教範秘 第三二五號C	備品 四〇・C
昭和十二年機關術年報	海軍省教範秘 第三二六號B	備品 四〇・B
昭和十二年砲術年報第四	海軍省教範秘 第三二九號D	備品 四〇・D
昭和十二年工術年報	海軍省教範秘 第三三〇號	備品 四七・五
獨國海軍艦船艦内防禦ノ概要	海軍省教範秘 第三三一號	備品 四七・六
獨國軍艦「ライオン」ノ下水規定	海軍省教範秘 第一〇四號	備品 九七
化學戰兵器	海軍省教範 第一〇六五號	備品 三三二
日本海軍史	海軍省教範 第一〇六六號	備品 三三三

0093

日本陸軍史	海軍省教普 第一〇六七號普	備品	九	三三四
明治天皇御製謹話	海軍省教普 第一〇六八號普	備品	一〇	一一三
海軍喇叭譜草案	海軍省教普 第一〇〇四號普	品消耗	二	一二五
普通學參考 (初任下士官特別 教育參考書ノ内)	海軍省教普 第一〇七〇號普	品消耗	四	一七五
軍事學參考 (初任下士官特別 教育參考書ノ内)	海軍省教普 第一〇七一號普	品消耗	四	一七六
精神教育參考 (初任下士官 特別教育參 考書ノ内)	海軍省教普 第一〇七二號普	品消耗	四	一七七
勤務參考 (初任下士官特別 教育參考書ノ内)	海軍省教普 第一〇七三號普	品消耗	四	一七八
車掌讀本 (鐵道現業 讀本ノ内)	海軍省教普 第一〇五九號C	貨與	一三	二八・C
憲法制定ト歐米人ノ評 論	海軍省教普 第一〇六九號普	貨與	一三	一九〇

○試験問題發送
第七期高等科航空兵器術練習生採用試験問題
第四十三期偵察
第四十五期操縱練習生採用試験問題
右五月五日左記ノ通發送濟、未着ノ向又ハ別ニ必要ノ
向ハ至急御通知相成度
記

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部長及各要港部參

三、謀長宛送付
聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲
聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記諸官
宛單獨試験問題若干部送付シアリ
(横須賀海軍航空隊)

海軍公報(部内限) 第二千九百四號 昭和十三年五月九日

四九七

0094

○艦船所在

△印ハハカテ
指定ヲ要セズ

○五月九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城▲、五十鈴▲、木曾、▽嚴島▲、春日、長門、高雄▲、
▽電、雷▲、響、▽曉、狹霧、漣、呂六六、掃二▲、富士▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

帆風、旗風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風▲、羽風▲

【横濱】掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】秋風▲、夕風▲

(霞)▲

【館山】澤風▲

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗▲

大泊

【函館】▽若竹▲

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、最上、▽白鷹、扶桑、加古、大井、夕顔、吳竹、▽白菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊七三、伊五八、伊五五

雄、鳩

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

【大 阪】

【神 戶】

呂六四▲、(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲、襟裳

朝風▲、▽松風

【因ノ島】

【江田内】

平戸、淺間、陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨、▽鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽龍驤

夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、▽龍、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲、▽陸月

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、

【舞鶴】 伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九
間宮、攝津、鳴戸
吾妻▲、八重山▲
【初雪】 白雪▲、吹雪▲、卓月

【新瀉】 伊五二
赤城▲、榛名、那智、北上、羽黒
梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、夕風、朝風、
【佐世保】 梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、夕風、朝風、
若葉、初霜、子日、初春、大潮、満潮、朝潮、荒潮、
伊文月、水無月、長月、卯月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六七▲、呂六五、
呂六三、呂六八、伊六五、伊六六、
伊六七、伊二
敷島▲、洲崎

【長崎】 佐多▲
(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】 葦、楡、柿

【元山】 伊五七

【高雄】 磐手、八雲

【水戸】 早瀬

【羅府】 隠戸

【作業地】 出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、長良、
神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、
蒼龍

栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、菱、
蓬、島風、灘風、沙風、疾風、追風、
峯風、彌生、如月

伊二一、伊二二
千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴻、
隼、雁、鷺

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、室戸、野島、膠州、知床、鶴見

【航海中】

名取 (七日佐世保發—港外へ)

伊五六 (八日羅津發—吳へ)

尻矢 (八日吳發—徳山へ)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千九百五號

昭和十三年五月十日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二四三〇號

海軍工員規則第九十八條ニ依リ本年六月支給スベキ定期賞與ハ六月一日現在ノ工員(見習工員ヲ除ク)ニ就キ左ノ標準ニ依リ之ヲ實施スベシ
海軍燃料廠採炭部及鑛業部ノ鑛員ニ對シテハ同日現在員ニ就キ右ニ準ジ賞與ヲ支給スルコトヲ得

昭和十三年五月十日

海軍大臣

在職一年以上勤績者	賃錢二十五日分以内
同 十月 同	同 二十日分以内
同 八月 同	同 十五日分以内
同 六月 同	同 十日分以内
同 三月 同	同 五日分以内
同 一月 同	同 三日分以内

官房第二四二七號

海軍工員規則第九十九條及同條ヲ準用スル諸規定ニ依リ昭和九年四月二十一日ヨリ同年四月二十一日迄ノ間ニ見習工員ヲ成業セル工員ニ支給スベキ誓約賞與ノ給額標準ヲ左ノ通定ム

昭和十三年五月十日

海軍大臣

- 一、誓約期間満了ニ依リ昇級シタル時ノ賃錢二十三日分
- 但シ誓約期間満了ノ際海陸軍ニ在營ノ者ニ對シテハ再傭時ノ賃錢ニ依リ之ヲ支給ス
- 二、各廳長ハ必要ニ應ジ適宜減額支給スルコトヲ得

○通 牒

海軍省令第八八號
昭和十三年五月九日

昭和十三年五月九日
ニテ本號廢止

海軍省軍需局長

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第二千九百五號

昭和十三年五月十日

五〇一

0097

關係各廳長殿

海軍燃料貯藏場ニ配備スベキ燃料ニ關スル件通牒

海軍燃料貯藏場規程及昭和十三年内令第五十號ニ依ル海軍燃料貯藏場ニ配備スベキ燃料ノ種類及數額別表ノ通定メラレ候

但シ別表ハ左記ノ箇所ニ送付ス

記

各鎮守府、各要港部

各艦隊司令部、各戰隊司令部

各海軍軍需部、舞鶴要港部軍需部

海軍燃料廠、吳海軍軍需部徳山支部

○辭令

海軍省事務囑託

(各通)

同

自今部内限奏任官待遇トス

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

中野 勝義

山本 惠七郎

塚越 賢爾

木村 茂樹

帆坂 藤吉

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス(請海軍省)

土屋 貞次

(各通)

海軍中將 荒城 二郎
海軍少將 中村 重一
同 坂部 省三

海軍省事務ヲ囑託ス(請同)

○雜款

○司令驅逐艦復歸

第二十二驅逐隊司令ハ五月一日司令驅逐艦ヲ水無月ヨリ文月ニ復歸セリ

○軍艦高雄行動豫定

地名 著

横須賀

舞鶴

發

五月十一日

五月十三日

五月十七日

十五日

○郵便物發送先

軍艦高雄宛

五月十日迄ニ到達見込ノモノハ

同 五月十四日迄ニ

横須賀

舞鶴

0098

其ノ後ハ

新舞鶴

特設運送船神丸宛

五月十四日迄ニ到達見込ノモノハ

同 十六日迄ニ

吳 徳 山

同 二十日迄ニ

西戸崎(福岡縣)

同 二十五日迄ニ

横 須 賀

右以後到達見込ノモノハ吳局留置トス

○残務整理

特務艦標裝残務整理ハ五月十六日ヨリ吳海軍經理部内ニ於テ取扱フ

一、特設水上機母艦衣笠丸残務整理ハ吳防備隊潜水隊兵舎ニ於テ取扱フ

一、衣笠丸ハ昭和十三年四月二十八日以後特設運送船ニ役務變更セラレタルニ付書類ハ特設水上機母艦衣笠丸ト特設運送船衣笠丸ト混同セザル様注意サレ度

0099

○艦船所在

指[▲]印[△]ハ^ハホ^ハフ^フ
定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○五月十日午前十時調

【横須賀】

對馬[▲]、愛宕[▲]、大鯨[▲]、夕張[▲]、鳳翔[▲]、山城[▲]、五十鈴[▲]、木曾、▽嚴島[▲]、春日、長門、高雄[▲]

▽電、雷[▲]、響、▽曉、狹霧、漣

呂六六

掃二

富士

(飛龍)[▲](劍埼)[▲](高崎)[▲]

【長浦】

帆風、旗風、春風、▽夏雲、山雲、朝雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七[▲]、呂五九[▲]、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】▽太刀風[▲]、羽風[▲]

【横濱】掃一[▲]、掃三[▲]、掃四[▲]

【浦賀】秋風[▲]、夕風[▲]

(霞)[▲]

【館山】澤風[▲]

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風、早苗[▲]

大泊

【函館】若竹[▲]

【吳】矢矧、韓崎、比叡[▲]、衣笠、青葉、長鯨[▲]

淀、最上、▽白鷹、扶桑、加古、大井、夕顔、吳竹、▽白菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一[▲]、呂五三[▲]、呂二六、呂二七[▲]、呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一[▲]、伊七一[▲]、▽伊五三、伊五四、▽伊七二、伊七三、伊五八、伊五五

雄、鳩

(千歲)[▲](千代田)[▲]

古鷹[▲]

呂六四[▲]

【大 阪】

【神 戶】

古鷹[▲]

(伊八)[▲](伊七五)[▲]

常磐[▲]

【相 生】

石廊[▲]、襟裳

【因ノ島】

朝風[▲]、▽松風

【江田内】

平戸、淺間

【德 山】

春雨

【宿 毛】

▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨、▽鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、夕立、五月雨、村雨、▽白霧、時雨、有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、▽臘、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、

【細島】△龍驤
△陸月
□伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、伊六九
間宮、攝津、鳴戸

【舞鶴】吾妻▲、八重山▲
□初雪▲、白雪▲、吹雪▲、皐月
(蔽)▲

【新瀉】伊五二
赤城▲、榛名、那智、北上、羽黒、名取
梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、□夕風、朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、満潮、朝潮、荒潮、□文月、水無月、長月、卯月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、□呂六七、呂六五、□呂六三、呂六八、□伊六五、伊六六、伊六七、伊二
敷島▲、洲崎
(伊七四)▲

【長崎】佐多▲
(利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】□葦、柿

【高雄】□碧手、八雲
【羅府】隠戸

【作業地】□出雲、△天龍、龍田、△安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、□足柄、沖島、△球磨、□妙高、多摩、△長良、△神威、△能登呂、勝力、△加賀、駒橋、蒼龍

栗、梅、蓮、□薄、葛、藤、□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊月、夕月、望月、三月月、□蓼、菱、蓬、□島風、灘風、汐風、□疾風、追風、峯風、彌生、如月

□伊二一、伊二二、□千鳥、初雁、友鶴、真鶴、□鶺鴒、鶺鴒、□雁、鶺鴒
□掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

△朝日、室戸、野島、膠州、知床、鶴見

【航海中】

伊五六 (八日羅津發—吳へ)
尻矢 (八日吳發—徳山へ)
早鞆 (八日「ホノルル」發—佐世保へ)
楡 (九日鎮海發)
□伊五七 (九日元山發—吳へ)

(辭令公報添)

0101